

wealth of alternatives : Effective treatments for alcohol problems. Treating addictive behaviors 2nd ed. pp203-216, Plenum Press, New York, 1998.

4) Project MATCH Research Group : Matching alcoholism treatments to client heterogeneity : Project MATCH posttreatment drinking outcomes. J Stud Alcohol 58, 7-29, 1997.

5) Bien TH, Miller WR et al : Brief interventions for alcohol problems : A review. Addiction 88 : 315-336, 1993.

6) 廣尚典, 樋口進 : 職場のアルコール依存症. 臨床精神医学講座第 18 巻 家庭・学校・職場・地域の精神保健. pp389-397, 中山書店, 東京, 1998.

7) 廣尚典, 島悟 : 問題飲酒指標 AUDIT 日本語版の有用性に関する検討. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 31 : 437-450, 1996.

8) Babor TF, Saunders JB et al : AUDIT - The Alcohol Use Disorders Identification Test : Guidelines for use in primary health care. WHO, Geneva, 1992.

9) 樋口進 : 早期発見 早期介入. 我が国のアルコール関連問題の現状. pp228-253, 厚健出版, 東京, 1993.

pp389-397, 中山書店, 東京, 1998.

2. 学会発表

廣尚典 : 職場におけるアルコール関連問題の Screening と Brief intervention. 第 33 回日本アルコール・薬物医学会総会, 西宮, 1998.

G. 研究発表

1. 論文発表

廣尚典, 樋口進 : 職場のアルコール依存症. 臨床精神医学講座第 18 巻 家庭・学校・職場・地域の精神保健.

表 1. 提案された節酒法の実施率およびその効果に関する自己評価の 3 群間における比較

	提案された節酒法の実施率	効果に関する自己評価		
		肯定	不明	否定
面接法 (N=30)	64.3% (18 例, 2 例は未回答)	77.8%	16.7%	5.5%
社内メール群 (N=31)	48.4% (15 例)	40.0%	60.0%	0%
小集団教育群 (N=19)	57.9% (11 例)	27.3%	27.3%	45.5%

表 2. 提案された節酒法の実施率の年齢層別比較

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	総計
面接法	50% (3)	(対象なし)	80.0% (8)	58.3% (7)	64.3% (18)
社内メール群	50% (2)	33.3% (1)	40.0% (4)	57.1% (8)	48.4% (15)
小集団教育群	40% (2)	100% (1)	20.0% (1)	87.5% (7)	57.9% (11)

() 内は実数

(別表1)

AUDIT 質問票

現在のあなたの飲酒に最も近い番号に、○を付けてください。

1. あなたはアルコール含有飲料をどのくらいの頻度で飲みますか？

0. 飲まない 1. 1カ月に1度以下 2. 1カ月に2~4度
3. 1週に2~3度 4. 1週に4度以上

2. 飲酒するときには通常どのくらいの量を飲みますか？

ただし、日本酒1合=2単位、ビール大瓶1本=2.5単位
ウイスキー水割りダブル1杯=2単位、焼酎お湯割り1杯=1単位
ワイングラス1杯=1.5単位、梅酒小コップ1杯=1単位
(1単位=純アルコール9-12グラム)

0. 1~2単位 1. 3~4単位 2. 5~6単位
3. 7~9単位 4. 10単位以上

3. 1度に6単位以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか？

0. ない 1. 1カ月に1度未満 2. 1カ月に1度
3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日

4. 過去1年間に、飲み始めると止められなかったことが、どのくらいの頻度で
ありましたか？

0. ない 1. 1カ月に1度未満 2. 1カ月に1度
3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日

5. 過去1年間に、普通だに行なえることを飲酒していたためにできなかった
ことが、どのくらいの頻度でありましたか？

0. ない 1. 1カ月に1度未満 2. 1カ月に1度
3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日

6. 過去1年間に、深酒の後体調を整えるために、朝迎え酒をせねばならなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか？
0. ない 1. 1カ月に1度未満 2. 1カ月に1度
3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日
7. 過去1年間に、飲酒後罪悪感や自責の念にかられたことが、どのくらいの頻度でありましたか？
0. ない 1. 1カ月に1度未満 2. 1カ月に1度
3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日
8. 過去1年間に、飲酒のため前夜の出来事を思い出せなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか？
0. ない 1. 1カ月に1度未満 2. 1カ月に1度
3. 1週に1度 4. 毎日あるいはほとんど毎日
9. あなたの飲酒のために、あなた自身か他の誰かがけがをしたことがありますか？
0. ない 2. あるが、過去1年にはなし
4. 過去1年間にあり
10. 肉親や親戚、友人、医師、あるいは他の健康管理にたずさわる人が、あなたの飲酒について心配したり、飲酒量を減らすように勧めたりしたことがありますか？
0. ない 2. あるが、過去1年にはなし
4. 過去1年間にあり
-

問題飲酒の判定法：回答された選択肢の数字を加算合計して、AUDIT得点とする。AUDIT得点が高いほど、問題飲酒者である可能性が高いと考えられる。日本語版の区分点は、使用目的に応じて10/9～14/13点とすることが提唱されている。

(別表 2)

お酒の飲み方メモ

- お酒が主な原因であるあなたの健康問題は
(←医師が事前に記入)

 - それによって近い将来起こってくる健康問題は
(←医師が事前に記入)

 - あなたの飲酒で目標にするとよいのは
(←医師が事前に記入)

 - 具体的な方法は
(←介入者が解説をして、本人に記入を求める)
 - 飲酒に関する目標を定める
目標：例) 午後 9 時にはきりあげる

 - どのくらい酔っているかをモニターする技術を身につける
酔っている目安：例) トイレに立つとき、ふらつく

 - 実際に飲酒量をモニターする
モニター法：例) 一杯毎にコインを上着の右ポケットに入れる

 - 飲酒のスピードを抑える技術を習得する
具体的方法：例) 注がれてもグラスが空になるまで飲みほさない

 - 飲酒を増やす引き金を探す
引き金：例) 飲んだ帰りに、帰宅路にあるスナックに立ち寄る

 - 飲酒を断る方法を習得する
断る方法：例) 設定した休肝日には車に乗る用事を作る

 - 飲酒に代わる他の行動を習得する
他の行動：例) 飲む時間にカラオケ教室に通う
-

研究成果の刊行に関する一覧表

廣尚典, 樋口進: 職場のアルコール依存症. 臨床精神医学講座第 18 巻 家庭・学校・職場・地域の精神保健. pp389-397, 中山書店, 1998. 12. 31.

廣尚典: 職場におけるアルコール関連問題の Screening と Brief intervention. 日本アルコール・薬物医学会雑誌 33, 362-363, 1998.